



## DE&I と体育祭

5月12日に人権学習の一環で校長講話があり、「みんなが安心して過ごせる学校にするために」というタイトルで「DE&I」について話をしました。

改めて確認しますが、DE&Iとは次の3つの言葉の頭文字です。

Dは Diversity = 多様性 人はみんな違うということ、その違いを認めようということ。

Eは Equity = 公平性 みんなが同じスタートラインに立てるように工夫すること。

Iは Inclusion = 包摂性 誰もが「ここに居ていい」と思える状態をつくることです。

そして29日に体育祭が行われました（詳しくは後述）ので、今回の体育祭をDE&Iの視点で見ると、どんな場面や状況が該当するのか考えてみました。

まず、Dの多様性ですが、勝負が目的の一般的なスポーツの大会や競技会と違って、学校の体育祭には運動の得意な人もいれば得意ではない人もいます。身体の高い人もいれば低い人もいます。力の強い人もいれば弱い人もいます。このことはある意味多様性と言えるでしょう。次にEの公平性については700mリレーの特別ルールが該当すると思います。そのリレーのルールでは、バトンゾーン（バトンの受け渡しができる区間）を約40mとしました。このことは、走るのが得意な人は最長140m走ることができるのに対して、得意でない人は最短60mくらいで済むということです。走順や受け渡しの位置などの作戦によって走力差をカバーでき、公平だと言えるでしょう。そしてIの包摂性が該当するのは、この体育祭の目的を「みんなで楽しむこと」としたところです。跳んだり走ったりといった運動することに関しては人によって得手不得手があるでしょう。しかし、「楽しむ」ことに関しては、得手不得手はありませんから、だれも肩身の狭い思いをすることはありません。ある3年生は体育祭を終えた後「負けたけど、楽しかったです!」と言っていました。この一言が全てを物語っていると思いました。とてもうれしかったです。

今後の学校生活にも必ず生かし、みんながもっと安心して過ごせる楽しい学校にできると確信しています。

## 小中リレー対決

5月23日 槻川小学校の体育祭において、ここ数年恒例となった小中リレー対決が行われました。今回は部活動の関係で女子チームのみの参加となりました。小学生に与えられたハンディが大きすぎてとても勝てませんでした。素晴らしい走りで大いに盛り上げてもらいました。



# 第52回東秩父中学校体育祭

～走れ! 叫べ! 青春だ!～

5月29日に第52回体育祭が行われました。ご多用にもかかわらず、高野貞宜村長をはじめ、大変多くの来賓の方々、そして保護者の方々においでいただき、生徒たちが繰り広げる熱戦にたくさんの温かい応援をいただきました。

開校以来最少の生徒数ですが、生徒たちは5月7日に赤団、青団に分かれ結団式を行いました。各団とも団長を中心に、一丸となって練習に取り組んできました。

少人数への対応として、昨年度まで実施していた集団行動を失くし、その代わりになるものを生徒たちにゆだねたところ、借り物競争や障害物競走の追加や、保護者チームを結成など、様々な工夫がなされました。また、小学生が参加しての玉入れや、しばらく途絶えていた秩父音頭が復活し、保護者の方も一緒に踊っていただくなど、「みんなで創る生徒が主役の体育祭」が実現できました。

その他振り返ってみると、練習の時から長縄跳びの苦手な人の両手を取って一緒に跳んでくれた人もいて、私は、優しさに溢れた最高の体育祭だったと思います。



## 通信陸上比企地区予選

5月16日東松山市の陸上競技場で通信陸上比企地区予選が行われ、本校からたくさんの生徒が出場しました。陸上クラブで週2日朝練習を行っていますが、大健闘です。



<入賞>  
1年女子100m 第3位  
男子砲丸投げ 第4位  
女子砲丸投げ 第6位